

《プレスリリース》

10月22日（大会最終日）

470 級男女でメダル獲得

台風 21 号の影響で 2 種目が中止に

日本初開催の「セーリングワールドカップ 愛知・蒲郡大会」が 10 月 22 日、最終日を迎えました。台風 21 号接近に伴う暴風警報が発令されたため、RS:X 級男子と 470 級男子の決勝レースが中止となりましたが、今大会をとおして日本人選手が 4 種目で表彰台に上り、銀、銅合わせて 5 つのメダルを獲得する活躍を見せました。



左) 470 級女子 2 位（青いビブ）の吉田愛（左）/吉岡美帆 組

右) 470 級男子 2 位（青いビブ）の磯崎哲也（右）/高柳彬 組と 3 位（赤いビブ）の今村亮（左）/外薮潤平 組



大型の台風が接近する中で行われた 470 級女子のメダルレース

大会最終日はレーザー級、レーザーラジアル級、470 級男女、そして昨日延期になった RS:X 級男子のメダルレース（決勝レース）が予定されていましたが、台風 21 号の影響で 470 級男子と RS:X 級男子のレースが中止に。2 種目は昨日まで行われたオープニングシリーズ（予選シリーズ）の成績が最終成績となりました。

【470 級女子】

この大会がリオ五輪後の復帰戦となった吉田愛/吉岡美帆組は、手堅いレース展開で 3 位となり総合 2 位、銀メダルを手に入れました。優勝は現世界チャンピオンのポーランド、Skrzypulec/Mrózek Gliszczynska 組です。

【470 級女子 2 位：吉田愛/吉岡美帆 組のコメント】

「1 年近くヨットに乗っていなかったので、レース感が鈍っているところもありました。それでも 1 レース目から手応えを感じることができ、メダルに繋がったことで改めて東京五輪を目標にすることができた大会でした」（吉田）

「愛さんと乗るのは久しぶりですが、久しぶりという感じはしませんでした。愛さんと乗れない期間はほかの人と乗り、課題とする軽風の練習をしてきました。今大会は軽風が多かったので、その経験をうまく活かすことができたと思います」（吉岡）

【470 級男子】

スタートの直前に暴風警報が発令された 470 級男子のメダルレース。10 艇中、半分の 5 艇が日本チームだっただけにレースが中止され残念でした。

【470 級男子 2 位：磯崎哲也/高柳彬 組のコメント】

「今回は 2018 年ナショナルチームを決める選考レースでもあったので、レースで勝つことと同時に、日本チームの中で一番になることも頭に入れて戦っていました。トップに立ってから、国際大会のプレッシャーと緊張で守るレースをしてしまったのが最終的な順位に現れていたと思います」（磯崎）

「今まで一緒に走ったことのないチームとレースをすることで、彼らがどんなレースをするのか見ることができました。苦しい場面でもしっかり上がってくる戦い方を、自分たちもできるようになりたいです」（高柳）

【470 級男子 3 位：今村亮/外園潤平 組のコメント】

「ナショナルチームの選考も兼ねていたので、日本人の中で 1 番になることを目標としていました。日本人では 1 番になれませんでした、メダルを獲れたことは嬉しかったです」（今村）

「僕たちはどちらかといえば軽風が得意です。今大会は軽風シリーズだったので、そ

こで結果が出せたことは自信に繋がりました。ただ、細かいミスで順位を落とすこともあったので、10月26日から始まる江の島オリンピックウィークに向けてしっかりと改善していきたいです」(外薗)

【レーザーラジアル級】

嵐の前の静けさ?!なのか、メダルレースは海上での風待ちの後に行われました。優勝はリオ五輪銅メダリスト、デンマークの Anne-Marie Rindom です。

【レーザー級】

難しいコンディションの中で行われたレーザー級のメダルレースは、リオ五輪金メダリストの Tom Burton が3位。現世界チャンピオン、キプロスの Pavlos Kontides が2位。リオ五輪銅メダリスト、ニュージーランドの Sam Meech が1位。50艇が参加した今大会最大クラスは、実力者が上位を独占しました。

【RS:X 級男子】

今大会で天候に最も奔走されたのが RS:X 級の男子でした。最終日も長い、長い待ち時間の後、メダルレースの中止が決定。富沢慎は4位でワールドカップシリーズを終えました。

豊田自動織機 海陽ヨットハーバーで6日間(レース日)に渡って行われた日本初開催の「セーリングワールドカップ 愛知・蒲郡大会」は、49erFX 級の原田小夜子/永松瀬羅(共に豊田自動織機)組と470級男子の今村亮(一宮グループ)/外薗潤平(JR九州)組が銅メダルを、RS:X 級女子の大西富士子(ホマレ電池)、470級男子の磯崎哲也(エス・ピー・ネットワーク)/高柳彬(日本経済大学)組、そして470級女子の吉田愛/吉岡美帆(共にベネッセホールディング)組が銀メダルと獲得するなど、日本人が大活躍した大会でした。2018年秋、セーリングワールドカップは神奈川県藤沢市の江の島で再び開催されます。

【日本人選手の最終成績】

●470 級男子（参加 24 艇 12 カ国 7 レース実施）

- 2 位：磯崎 哲也（エス・ピー・ネットワーク）/高柳 彬（日本経済大学）
3 位：今村 亮（一宮開発グループ）/外薗 潤平（JR 九州）
4 位：土居 一斗（アビームコンサルティング）/木村 直矢（アビームコンサルティング/日本大学）
6 位：高山 大智（YAMAHA Sailing Team‘Revs’）/今村 公彦（YAMAHA Sailing Team‘Revs’）
8 位：市野 直毅（所属なし）/長谷川 孝（横浜ゴム）
16 位：河合 龍太郎（三井住友海上火災保険）/中澤 太郎（三井住友海上火災保険）
19 位：神木 聖（YAMAHA Sailing Team‘Revs’）/疋田 大晟（YAMAHA Sailing Team‘Revs’）
24 位：小泉 颯作（トヨタ自動車東日本）/野田 友哉（日本経済大学）

●470 級女子（参加 14 艇 7 カ国 7 レース+メダルレース実施）

- 2 位：吉田 愛（ベネッセホールディングス）/吉岡 美帆（ベネッセホールディングス）
11 位：林 優季（明海大学職員）/西代 周（明海大学職員）
12 位：山本 佑莉（鳥取県セーリング連盟）/斎藤 由莉（早稲田大学）
13 位：宇田川 真乃（YAMAHA Sailing Team‘Revs’）/関 友里恵（YAMAHA Sailing Team‘Revs’）

●49er 級男子（参加 20 艇 11 カ国 9 レース+3 メダルレース実施）

- 14 位：古谷 信玄（エス・ピー・ネットワーク）/八山 慎司（エス・ピー・ネットワーク）
15 位：高橋 稜（オークランド大学）/小泉 維吹（早稲田大学）

●49erFX 級女子（参加 9 艇 5 カ国 8 レース+3 メダルレース実施）

- 3 位：原田 小夜子（豊田自動織機）/永松 瀬羅（豊田自動織機）
4 位：波多江 慶（豊田自動織機）/板倉 広佳（豊田自動織機）
7 位：山崎 アンナ（ノエビア/日本体育大学） 高野 芹奈（ノエビア/関西大学）

●レーザー級男子（参加 50 艇 23 カ国 8 レース+メダルレース実施）

- 17 位：瀬川 和正（鳥取県立米子産業体育館）
38 位：南里 研二（三重県体育協会事務局）
47 位：樋口 碧（神奈川県セーリング連盟/エニタイムフィットネス関内）
49 位：北村 勇一郎（関東学院大学）

●レーザーラジアル級女子（参加 35 艇 21 カ国 8 レース+メダルレース実施）

- 26 位：多田 桃子（三重トヨタ自動車）
28 位：富部 柚三子（福井県体育協会）

●RS:X 級男子(参加 19 艇 9 カ国 5 レース実施)

4 位：富沢 慎（トヨタ自動車東日本）

13 位：池田 健星（明治大学・KAYA）

16 位：倉持 大也（福井県体育協会）

17 位：尾川 潤（島精機製作所）

19 位：福村 拓也（豊田自動織機）

●RS:X 級女子（参加 13 艇 6 カ国 6 レース＋メダルレース実施）

2 位：大西 富士子（ホマレ電池）

5 位：小嶺 恵美（一宮開発グループ/ジェイウィルコーポレーション）

8 位：伊勢田 愛（福井県体育協会）

11 位：須長 由季（ミキハウス）

12 位：松浦 花咲実（大阪学院高等学校）

14 位：山辺 美希（サガミ）

【成績表】

<http://sailing.org/worldcup/results/index.php>

【レースライブ航跡図】

レース艇は全艇 GPS を搭載しており、ライブ航跡図は以下でご覧いただけます。

<https://wcs2018-gamagori.sapsailing.com/>

【報道記事用の公式写真】

高解像度のエディトリアルフリー（報道記事用の無料写真）写真は以下からダウンロードしてお使いいただけます。パスワードは **WSimages** です。

<https://worldsailing.photoshelter.com/gallery-collection/WCS-Gamagori-2017/C0000B8AxwR4QL6U>.

【テレビ放送用公式映像】

テレビ放送用の公式映像は 19 日（木）～22 日（日）に提供可能です。素材の提供はクラウド経由で行います。レース画像、選手インタビューなどのリクエストには下記までお問い合わせください。

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

セーリング ワールドカップ 愛知・蒲郡大会 プレス担当：西 朝子(にし ともこ)
Tel: 090-1042-9262 Email: press@swc-jsaf.org

<http://swc-gamagori.jp/>
<http://www.sailing.org/worldcup/>